

9月13日(土)

第27回 開成阿波おどり

祭り当日、町は阿波おどりの「ぞめき」に包まれます。「ぞめき」とは、阿波おどりの本場徳島で、祭りの前のざわめきや阿波おどり特有の二拍子の軽快なリズムなどを表す言葉です。この一独特な雰囲気を感じていただきたいと思います。

産業振興課 ☎84-0317



天狗連 (東京・高円寺) 特別招待連です。この他にも、町外から参加される連があり、開成阿波おどりは、町の三大祭りの一つとして町内外に知られています。

祭りの起源

開成阿波おどりは、昭和63年に始まり、今年で27回目を迎えます。始まりは、当時の町長(故・山神輝さん)が、町民が結束できる祭りの開催を目指して、阿波おどりの導入を決定したことからです。

今では、町内だけでも自治会を中心とした14連もの組織ができるまでに成長しました。

開成町らしさ

阿波おどりは、全国各地で行われていますが、開成阿波おどりにには、開成町ならではの特色があります。

一つは、住宅街で祭りが開催されることです。踊りの連は、民家の密集する通りもにぎやかな音を鳴らしながら練り歩きます。これは、町民の皆さんの理解や協力があるからできることです。他市町村では、商店街や特設ステージなどが会場となることが多いので、珍しい祭りの形式です。もう一つは、秋に開催されること。

今年は21の連が阿波おどりを披露します

日時 9月13日(土)16時15分～20時30分 雨天決行
・オープニングパレード 16時15分～17時
・路上踊り 17時15分～20時15分
開成小学校前会場ではコンテストを開催。(17連出演)
・総踊り 20時15分～20時30分
場所 役場庁舎前、県道720号(開成中央通り)、町道201号線(旧道)に全7会場設置します。

ることです。阿波おどりは、日本三大盆踊りの一つで、一般的には盆の時期に開催されます。しかし、開成町は、当初から気候の良い秋に開催しています。町外の阿波おどりの連の方々は、一年間の踊り納めとして参加されることもあるようです。

生まれ育った開成町のために

開成阿波おどり連協会展長の井上慎司さん(上島)は、29歳のときにこの役に就きました。若い方の力や発想を求めている連協会から、会長就任の打診があったそうです。それから約5年が経過し、井上さんの目指す開成阿波おどりの姿が少しずつ形になってきました。若い会長がまとめる魅力を開きました。

開成阿波おどりの出会い

初めて参加したのは、私が8歳のときで、地域の子どもの会行事の一つでした。中学に入學すると、参加しなくなり、当時の連長に半ば強制的に参



開成阿波おどり連協会展長 井上慎司さん

加させられたことが、今につながっています。始めは気が進みませんでしたが、参加してみると、沿道の拍手や声援を受けて仲間と演舞することに喜びを感じるようになりました。

始めは鳴り物から

今は踊り手として

阿波おどりは、生演奏の鳴り物と躍動感ある踊りが一体となっていて、私には大太鼓や篠笛を経験した後、踊り手に転向しました。正直なところ、始めは踊りが滑稽なものとしてしか目に映っていませんでしたが、大和阿波おどりの観客を引き付ける踊り手の姿を見たとき、考えが変わりました。その後、徳島阿波おどりなども経験して、人を感動させる踊りの魅力にとりつかれました。

子どもたちに伝えたい

開成阿波おどりへの参加は、踊りが上手になることだけが目的ではありません。



毎週水曜日に自治会館で稽古に励む

祭りの一週間前には、会場となる場所のごみ拾い活動をしています。自由参加ですが、年々参加人数が増えています。特に子どもたちには、自分たちの踊る場所を、自分たちできれいにしたことを覚えてほしい、また、祭り当日は、観客が自分たちの踊りに感動してくれることを自分たちの喜びとしても感じてくれればうれしいです。そして、このような経験を通じて、誰かがやってくれることを待つのではなく、地域にとってより良い取り組みを積極的にできる存在になってくれることを願っています。

開成阿波おどりの楽しみ方



楽しみ方1 オープニングパレードを見るべし!
16時15分～17時

1か所で参加連を全て見られるのはこのときだけです。



楽しみ方2 祭りのクライマックス 総踊りが一番盛り上がる!
20時15分～20時30分

参加連が、各所で一斉に踊ります。その賑わいは圧巻です。



産業振興課 鈴木

オープニングパレードや総踊りがあるのは、近隣では開成町だけです!